

企業のメンタルヘルス

職場不適應の現代的課題

～若年世代などの人材流動化と労働環境

令和7年 **10月21日** (火)

ゲートシティ大崎 ゲートシティホール(ウェストタワーB1F)

公益財団法人 精神分析武田こころの健康財団

実施要領

日時：令和7年10月21日(火) 13:20～受付
14:00～16:50 シンポジウム

会場：ゲートシティ大崎 ゲートシティホール(ウェストタワー B1F)

会費：参加費 無料

※シンポジウム終了後、ゲートシティ内別会場で情報交換会(参加費 1,000 円)を行います。

軽食や飲み物もご用意しておりますので、是非参加ください(要事前申し込み)。

申込方法：10月11日(土)までに会場参加の方は申込ハガキまたはFAX、
当財団ホームページからの申込みが可能です。
オンライン参加ご希望の方は当財団ホームページ
(<https://www.takeda-kokorozaidan.jp>)からお申込み下さい。



財団HPはこちら

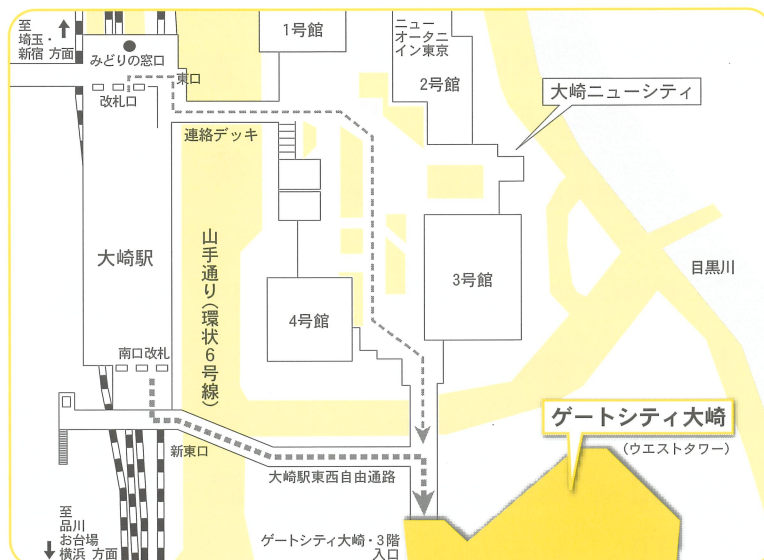
会場のご案内

ゲートシティ大崎
ゲートシティホール
(ウェストタワーB1F)

〒141-0032

東京都品川区大崎1-11-1

大崎駅南改札口から徒歩1分



第 14 回 企業のメンタルヘルス 職場不適應の現代的課題 ～若年世代などの人材流動化と労働環境

ごあいさつ

公益財団法人 精神分析武田こころの健康財団 理事長 武田 龍太郎

この度、産業メンタルヘルス分野に関わる人事・健康管理担当の皆様、医療や関係分野の皆様を対象に第14回産業メンタルヘルスシンポジウムを開催する運びとなりました。

当シンポジウムは毎年産業メンタルヘルスのその時点における重要課題を取り上げ、企業の皆様の健康維持・増進や企業組織の発展に寄与できることを目的に開催してまいりました。

本年は、「職場不適應の現代的課題～ 若年世代などの人材流動化と労働環境」をテーマに設定しました。昨今の産業現場では、生産年齢人口の減少に伴い、いかに良い人材を獲得し定着してもらい、DX などにより生産効率をいかにあげるかが各企業共通の課題となっています。また、その流れの一方、最近では人材の早期離職・転職が増え人材は流動化し、その過程で職場不適應からメンタルヘルス不調を呈する方が増加し、なかでも20代、30代の若年者の不調者・休職者割合が増えている現状があります。

そのような方は、職場不適應を機会に適応障害・うつ病といった診断を受け、病状が遷延し休職期間も長くなるなど企業やご本人にとっても大きな損失となっております。本人側の要因や職場・周辺環境の要因の捉え方や対応について、産業精神保健の現場から自治体保健師、先進的な認知行動療法について研究・応用している臨床心理士、この分野の専門研究者（産業医）、の3名の方々からお話を頂きます。後半ではパネルディスカッション形式でご参加の皆様との質疑応答、討論を行い、最後に我が国の認知行動療法の第一人者であり、臨床・研究・啓発活動などでご活躍されている大野裕先生に総括して頂く予定です。

本シンポジウムは会場とライブ配信のハイブリッド方式を予定し、ご参加の皆様の参加費は無料としております。周囲の皆様にもお声かけ頂きふってご参加頂ければ幸いです。また、終了後にささやかながら情報交換の場（要参加費）を設ける予定です。ご多用とは存じますが何卒よろしくお願い申し上げます。

プログラム

13:20～ 受付開始

14:00～ 開 会

開会の挨拶

武 田 龍太郎

公益財団法人
精神分析武田こころの健康財団 理事長

14:05～ シンポジウム

座 長

池 田 政 俊

帝京大学大学院文学研究科
臨床心理学専攻 教授

1) 政令指定都市における動向と
対応

清 水 友依子

川崎市総務企画局人事部労務厚生課

2) 若者の不適應の一要因としての
反芻思考に対する認知行動的
アプローチ

梅 垣 佑 介

奈良女子大学臨床心理学 講師

3) 職場における適応支援

田 中 克 俊

北里大学産業精神保健学 教授

16:10～ 会場討論

16:35～ まとめと提言

大 野 裕

大野研究所 所長

16:50～ 閉会の挨拶

武 田 龍太郎

17:10～ 情報交換会